年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ 年間授業計画

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ 教育出版「Tutti」 ）

教科　**芸術科・音楽**　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　**音楽Ⅰ**　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元名・指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	配当時数
1学期	・校歌を歌おう。 ・詩のイメージを大切にして「故郷」を歌おう。 ・西洋音楽史①～②	・「広尾高等学校校歌」や「故郷」の旋律および歌詞を覚え、ふさわしい発声を身に付けるとともに、工夫した音楽表現で歌唱する。 ・古代や中世の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の起源や音楽の変遷、音楽の様式などを理解しながら鑑賞する。	・歌唱、器楽、創作 【知識・技能】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。 【思考力・判断力・表現力】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱や器楽、創作の表現を創意工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に歌唱や器楽、創作の学習活動に取り組もうとしている。 ・鑑賞 【知識・技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に音楽史及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○			○	8
	・詩のイメージを大切にして「故郷」 ・西洋音楽史③	・「故郷」の旋律および歌詞を覚え、ふさわしい発声を身に付けるとともに、正しい音で二重唱をする技能を身に付ける。 ・ルネサンスやバロックの音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理論、楽器の音色などを理解しながら鑑賞する。		○			○	8
	定期考査(なし)							
	・「故郷」の二重唱をしよう。 ・西洋音楽史③～⑤	・・「故郷」の旋律および歌詞を覚え、ふさわしい発声を身に付けるとともに、正しい音で二重唱をする技能を身に付ける。 ・バロックや古典派の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理論、作曲家の特徴などを理解しながら鑑賞する。		○			○	8
	定期考査							
2学期	・ギターに触れ、簡単なコードを覚えよう。 ・西洋音楽史⑥～⑦	・曲の旋律および歌詞について知るとともに、簡単なコードを用いた弾き歌いをする技能を身に付ける。 ・ロマン派の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理論、作曲家の特徴などを理解しながら鑑賞する。			○		○	13
	定期考査(なし)							
	・応用的なコードを用いて弾き歌いをしよう。 ・西洋音楽史⑧～⑨	・曲の旋律および歌詞について知るとともに、応用的なコードを用いた弾き歌いをする技能を身に付ける。 ・近代、現代の音楽について、時代や社会の流れを通して、音楽の様式や理論、作曲家の特徴などを理解しながら鑑賞する。			○		○	13
	定期考査							
3学期	・課題曲を歌おう ・イメージをもって「春」を歌おう	・「広尾高等学校校歌　混声四部」の旋律を覚え、ふさわしい発声を身に付けながら曲想にあった音楽表現で歌う。 ・「春」の旋律を覚え、ふさわしい発声を身に付けながら曲想にあった音楽表現で歌う。		○			○	10
	・各クラスの自由曲を歌おう ・イメージをもって「春」を歌おう	・各クラスの自由曲の旋律を覚え、ふさわしい発声を身に付けながら曲想にあった音楽表現で歌う。 ・「春」の旋律を覚え、ふさわしい発声を身に付けながら曲想にあった音楽表現で歌う。		○			○	10
	定期考査(なし)							
								合計
								70